

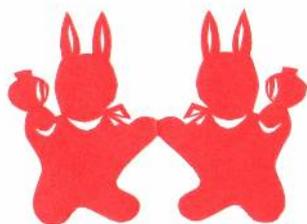
だいいこく通信 第十八号 「夏の号」

ついでに

日頃より当社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。社報「だいいこく通信」第十八号をお届けします。今年も暑い季節になってまいりました。「冷夏」という話も聞かれますが、油断は禁物ですね。くれぐれも熱中症などに気を付けてお過ごしくださいませ。

今回の内容は催し物のご報告、オリジナル・キャラクターのご紹介などです。日頃の祭事はもちろん、こういった催し物などを通じて、崇敬者の皆様、地域の皆様に、少しでも当社を身近に感じていただけるよう、努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

大國神社 宮司 大島資生



大國神社の今

(1) 「第二回だいいこく落語会」を開催しました
お蔭様をもちまして、去る五月二十四日、第三回だいいこく落語会を盛況のうちに開催することができました。ご来場くださいました皆様、ありがとうございます。

当日は、古今亭菊之丞師匠(写真)による「天狗裁き」「愛宕山」二席をたっぷり堪能させていただきました。師匠の巧みな語り口、磨き抜かれたしぐさと表情で、満員の客席が大いに沸きました。本物の伝統芸能をじっくりと味わうことができました。





「だいこく落語会」は今後も引き続き開催してまいりたいと存じます。次回の予定が決まりましたら、改めてご案内いたします。

(2) オリジナル・キャラクターが誕生しました！

当神社のオリジナ

ル・キャラクターが誕生しました。ご祭神のおオクニヌシノミコトが登場する「因幡の白兔」の神話にちなんで、双子の白うさぎです。

名前は、向かって右が

「大助」、左が「白吉」と申します。「大助」の

「大」は大國さまから

いただき、「白吉」の

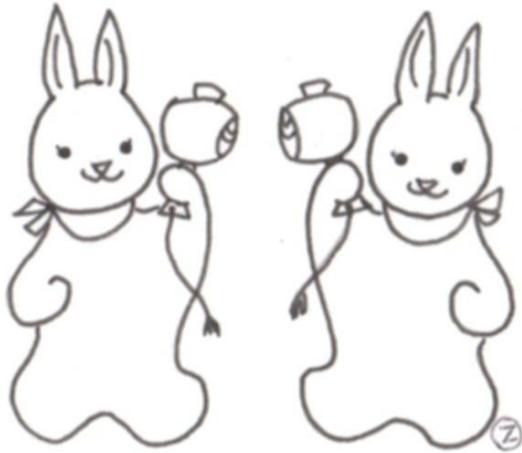
「白」は「白うさぎ」

から。名前を並べ、中の二文字を隠しますと「大吉」になる、

という趣向です(大(助白)吉)。どちらも、大國様からいただいた小槌を手を持っておりま

す。デザインは、当神社禰宜が担当しました。早速、社頭で配布中の神社の由緒書(写真)に登場

しています。また、今号では切り絵でもあちこちに顔を出し



ております。

今後、この社報などで活躍する予定です。皆様に福をお届けするためにがんばりますので、なにとぞご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

お宮あれこれ〜お札とお守り〜

神社で受けることができるお札やお守り。神社にお参りする際、おみくじと並んで馴染み深いものだと思います。今回はお札とお守りについてお話ししましょう。

お札は「お神札」とも書き、「神符」「守札(まもりふだ・しゆさつ)」とも呼ばれます。ご祭神の名前やご神威をあらわす文

字や図形、神社の名前が記されています。神社で受けて、神棚など家の中でお祀りするためのものです。お守りはお札を携帯に便利なように小型化したものです。お札もお守りも、ご神前でお祓いをおこない、ご祭神の力を宿しています。

お守りの古い形は、平安時代に貴族の間で広まった「懸守」だとされています。鎌倉時代には武家の間に広がり、江戸時代になって首にかける「胸守」が広がり、庶民も、お守りを持ち歩くようになりました。守り袋に使われる錦などは、庶民にとっては高価で貴重な品物でした。そこで、お守り本来の役割に加え、装飾品としての色合いを強めていったようです。現在も、お守りの袋にさまざまな色の織物が用いられているのはその名残でしょう。

ところで、お札やお守りは神様の力を宿したものですので、神仏の像と同じく、一体、二体、というふうには「体」で数えません。神様については『古事記』などにもみえる「柱」を用いて、一柱、二柱と言います。有名な諏訪大社の御柱祭は山から神木を切り出す行事ですが、このお祭りの名前にも「柱」の字があります。こういった方には、古い時代からの考え方が表われていると言えます。

当神社でも、ご好評をいただいております金運守、開運守、健康守、災難除けの「肌守」ほか、さまざまな種類のお守りをお出ししております（下段写真）。ご参拝の折にご覧いただければ幸いです。



祭礼・祈禱などのご案内

○次回甲子祭

平成二十六年八月二十一日（木）

（一）祈禱時間 午前五時～正午

○開運千人講祈禱祭 毎月一日（午前六時～正午まで）

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号にお願いいたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈禱受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈禱を行っております。祈禱日時については、お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八七九三〇

お急ぎの場合は携帯電話へ

○八〇一九八七七八七一六

メール daikokujinja@gmail.com

次号発行予定

「だいきく通信第十八号」、いかがでしたか。次号「秋の号」は、平成二十六年十月二十日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第十八号 平成二十六年六月二十二日発行
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一

<http://www.daikokujinja.org>

